

## 化学肥料低減計画書

### <作付概要>

作物名	作付面積(ha)
その他	
計	

### <対象肥料>

秋用		春用	
----	--	----	--

※いずれかに○を付けてください

氏名(法人・組織名)

住所

電話番号

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。  
 2. 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。  
 そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用( )		

①当年肥料費を記載してください。⇒私の当年肥料費は合計\_\_\_\_\_円です。

②チェック欄にチェック(✓)した上で署名してください。

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について、以下のとおり確約します。

チェック欄

- 1. 記載の肥料は令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
- 2. 本計画書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関で共有することを承諾します。
- 3. 本事業に係る報告や立入り調査について、事業実施主体等から協力を求められた場合は応じます。
- 4. 取組を実施したことが確認できる資料や写真等の証拠書類について、  
支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、事業実施主体等から求められた場合は提出します。
- 5. 以下の場合には支援金を返還すること、又は、交付されないことについて異存ありません。  
 ア 本計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合  
 イ 正当な理由がなく、本計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合

**氏名(自署)**

(注1) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。ただし、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

(注2) 注文によらず購入した(ホームセンターでの購入等)肥料の根拠資料(レシート等)を提出する際は、本紙裏面の様式第1-2号に、該当する肥料を一覧にとりまとめて提出すること。

様式第1-2号(参加農業者用)

氏名(法人・組織名) \_\_\_\_\_  
 住所 \_\_\_\_\_  
 電話番号 \_\_\_\_\_

購入肥料(当用買い)一覧表

購入日	銘柄	商品規格 (kg, L等)	数量	購入金額	購入場所	領収書等 取組実施者 確認欄
合計						

- 1 注文によらず購入した(ホームセンターでの購入等)肥料を記載すること。
- 2 記載した内容が確認できる領収書等を添付すること(各証明書類に肥料以外の資材等が含まれる場合は、当年の肥料費に計上する部分がかかるように印等をつけておくこと)。
- 3 枠が足りない場合は適宜追加すること。